

星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2026 No. 77



巻頭

新年メッセージ

特集

世界トップレベルに挑む
金沢星稜大学トランポリン部

星稜アレコレ

星稜トピック

星稜Pick up

総合研究所・SDGs産学地域連携センターだより

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中!



回答者に抽選でQUOカードをプレゼント

新年メッセージ



新年明けましておめでとうございます。今年の干支は丙午、颯爽と走る馬のように今年が能登半島、そして、石川県にとって復興と飛躍の年となることを祈ります。

国土交通省の令和7年9月末時点の能登の復興・復興状況に関する報告書によれば、住まいの再建については、応急仮設住宅の必要戸数6882戸すべてが12月26日までに完成し、豪雨災害で新たに必要となった286戸についても3月28日までに完成。上下水道については復旧困難地域等を除いて全てが復旧。通行止めの箇所が146から14箇所まで減少して、能登地区の集落や主要道も通行が回復。鉄道については、J-R七尾線のと鉄道も運転を再開し、震災前と同様のダイヤに回復。港湾については、施設の応急復旧により荷役が可能となり生業の再建に寄与している一方で、地盤隆起の影響が大きかった輪島港では、底引き漁など一部の漁が再開したものの、本復旧には至らず。観光業では、和倉温泉旅館の一部が営業を再開したが、多くの旅館の再開は、被災した海沿いの護岸復旧が必要、また奥能登の祭りの多くは震災後途絶えていたものの、半数の119件まで回復するという報道がありました。震災と豪雨からのさらなる復興には、引き続き地道な取り組みが必要であると感じています。

さて、金沢星稷大学・金沢星稷大学女子短期大学部では、「能登半島の創造的復興とともにあゆみ、地域創生に貢献する全学的な取り組みを推進する」との目標を掲げ、様々な支援活動を継続しております。大学のボランティア活動に参加した学生が、穴水町及び輪島市にある保育所を訪問した後の所感で「震災から間もなく2年が経とうとしていますが、まだまだ食材の確保が難しく、栄養バランスの整った給食を提供することが難しいという現状を知り、普段当たり前に食材を買って、栄養のある食事を取ることが出来ている日常はとても思われているということを実感し(中略)、生産者さんへの感謝、その場にいる大切な人たちへの感謝、食べることが出来ることへの感謝」などたくさんの方々の感謝の言葉が綴られていました。こうした経験が学生の人生を実り豊かなものにするのに気づかれます。

昨年、中学では、トランポリン部全日本年齢別選手権で室野尊さん(中学2年)が準優勝し、剣道部、野球部、サッカー部の活躍が目立ちました。高校では、全国高校総体ではトランポリン部が男子団体優勝を含む4冠を達成し、陸上部の清水空跳さん(高校2年)は、100mと200mで二冠を達成し、日本高校記録と世界ユース記録保持者となりました。文系の部活動では、全国高校囲碁選手権大会が石川県大会において囲碁部が団体戦で優勝し、石川県高等学校総合文化祭において演劇部は最優秀賞を含む3冠を獲得し、WRO(World Robot Olympiad)2025(Japan)決勝大会において高校2年のチームがRobo Missionエキスパート部門で3位に入賞する等、生徒の多彩な能力が発揮されました。

金沢星稷大学附属星稷幼稚園は、1965年の創立から60年を経過し、記念式典では600名の園児・保護者がつどい、園児の合唱やヒップホップダンス、よさこいソーランのステージなど創立60周年を祝いました。他方、金沢星稷大学附属星稷泉野幼稚園は1983年の開園以来長きにわたり地域の幼児教育と保育を担ってまいりましたが、2030年をもって閉園することとなりました。学園としては残念な思いが募りますが、最後まで充実した教育・保育を実践していく一方で、新たな星稷幼稚園の未来構想を検討している状況でございます。

最後となりますが、被災地の方々の生業の回復と能登の伝統的文化の継承が実現することを心からお祈り申し上げますとともに、稲置学園、そして、各設置校の教職員の皆様が協力して、教育・研究活動においてさらなる飛躍できますことを心から祈っております。



世界トップレベルに挑む 金沢星稜大学トランポリン部

オリンピック選手を次々と輩出するトランポリン王国・石川。金沢星稜大学トランポリン部では男女でオリンピック選手が誕生し、全日本学生トランポリン競技選手権大会・男子団体の3連覇を達成するなどめきめき力を付け、男女ともに全国屈指の強豪校として注目されています。今回は世界選手権、世界年齢別大会に出場した7名の選手に今シーズンを振り返り、今後の抱負などを語っていただきました。

悔しさを力に変えて チームをけん引

昨シーズンは、決勝ですべて演技中断してしまい、自分の力を発揮できず悔しい思いをしました。今シーズンはキャプテンとしてチームを引っ張っていきけるよう個人競技ですべての大会で失敗することなく、通しきることができ、自分の中でも手ごたえと成長を実感した1年となりました。シנקロナイズド競技で世界選手権の代表を初めて手にしましたが、来シーズンは世界選手権の個人競技で代表に選ばれ、メダルを狙いたいと思っています。



美田 靖文
(みた・やぶふみ)

人間科学部 スポーツ学科3年

勝った時より負けた時が 大きく成長するチャンス

今シーズンはワールドカップと世界選手権に出場したものの、あまりいい結果を残せませんでした。大学で負ける経験がなかったのですが、苦しくもありましたが、勝つ時よりも負けた時の方が多く学べることによく分かりました。初出場となったシニアの国際大会では、藤池監督から「背伸びせず、身の丈にあったプレーで行け」と言われ、周囲に流されず、しっかり自分を持って戦うことの大切さを教えていただき、人間的にも大きく成長できました。



山崎 凌空
(やまざき・りく)

人間科学部 スポーツ学科4年



赤石 泰雅
(あかいし・たいが)

人文学部 国際文化学科1年

技をイチから見直し みんなでつかんだ代表の座

高校時代は練習でよくても本番で結果を残せず、不完全燃焼のまま卒業してしまいました。大学入学後、監督やコーチのアドバイスも受けながら技の作り方をイチから見直し、本番でも練習と同じことができるようになりました。5月の世界選手権選考会では2位となり、最終選考会を待たずに個人競技で世界選手権の代表になりました。来シーズンは、高さとも美しさにより一層磨きをかけ、難しい技にも挑み、世界選手権でも上位に食い込みたいです。



都竹 奏翔
(つづく・かなと)

人間科学部 スポーツ学科2年

目標をすぐに切り替えて 年齢別の優勝につなげた

世界選手権の個人競技で代表入りを目指していたので悔しい気持ちがありましたが、世界年齢別大会での優勝を目標に切り替え、本番も強気で攻めて優勝できてよかったです。怖くなって技ができないこともありました。自分と向き合い、課題を克服できたことは大きな自信になりました。来シーズンは、難易度の高い技に挑戦して日本のトップ選手に食らいつき、世界選手権の個人競技で代表の座をつかみ、世界で活躍できる選手になりたいです。



今本 修成
(いまもと・しゅうせい)

人間科学部 スポーツ学科2年

ペアの思いやりに感謝し 来シーズンも世界年齢別大会に

世界年齢別大会では、日本と違ったガヤガヤした雰囲気の中で平常心を保つのに苦労しました。初めての世界の舞台でしたが、自分が跳びやすいように都竹がこまめに声をかけ、本番の演技も自分のリズムに合わせてくれたので、シンクロナイズト競技で優勝することができました。来シーズンは、中国・南京で開催される世界年齢別大会(17-21歳)がラストチャンスになるので、自分の技のレベルと精度を上げ、もう一度代表の切符をつかみたいです。



木村 心春
(きむら・こはる)

人間科学部 スポーツ学科3年

世界の舞台で再認識した トランポリンの存在の大きさ

21歳までと年齢制限のあった世界年齢別大会には、どうしても出場しなかったのが、最初で最後の舞台で念願だった個人競技で決勝まで進め、今後のトランポリン人生にも弾みがつきました。フランスで行われたワールドカップにも出場でき、自分の中でトランポリンの存在の大きさを再認識した1年でもあったので、来シーズンは世界選手権の年齢区分のないところで代表になれるようチームでも技術を高め合いながら頑張っていきたいです。



澤田 守杏
(さわだ・もも)

人間科学部 スポーツ学科2年

メンタル面をもっと鍛えて 本番で力を発揮できる選手に

世界年齢別大会のシンクロナイズド競技では、当初リザーバーでしたが、急きょ出場できることになり、限られた時間の中でコミュニケーションを多くとりながら調整し、準優勝という結果を収めることができました。個人的には個人競技で予選を1位で通過したものの、決勝で中断してしまいうメンタル面の弱さもあったので、来シーズンは本番で力を発揮できるよう精神的にもたくましく、強くなった自分大会に挑んでいきたいと思っています。

〈第31回世界年齢別トランポリン競技大会〉 (2025年11月11~13日 スペイン・パンプローナ)

- 男子個人競技(17-21歳)優勝 都竹 奏翔
- 男子シンクロナイズド競技(17-21歳)優勝 都竹 奏翔・今本 修成ペア
- 女子シンクロナイズド競技(17-21歳)準優勝 澤田 守杏

〈第60回全日本学生トランポリン競技選手権大会〉 (2025年8月22~24日 埼玉県久喜市・毎日興業アリーナ久喜)

- 男子(Aクラス)
 - 【団体競技】優勝 赤石 泰雅・山崎 凌空・美田 靖文・今本 修成
 - 【シンクロ競技】優勝 山崎 凌空・赤石 泰雅ペア/第3位 今本 修成・松岡 龍吾ペア
 - 【個人競技】準優勝 山崎 凌空/第3位 赤石 泰雅
- 女子(Aクラス)
 - 【シンクロ競技】第3位 木村 心春・澤田 守杏ペア
 - 【個人競技】準優勝 澤田 守杏/第3位 木村 心春



男女関係なく仲のよい金沢星稜大学トランポリン部の全メンバー。後列左から3番目が藤池亮太監督

人間性も含めてみんなに応援される人に

トランポリン部 監督 藤池 亮太

「当たり前前ことを当たり前前やること」を大切にしています。まずチームとしてみんなでベクトルを合わせ、目標に向けて努力していく過程を重要視しています。もちろん、トランポリンだけでなく、人間性も含めてみんなに応援される人であってほしいと思っています。部員にはもっと遠慮せず何でも聞いてきてほしいと思うこともあり、教えられるだけでなく、自分から学ぶ気持ちが強くなればもっともっとう上に行けると思っています。

短大 夏の短期留学 in セブ島

今年、大学生8名短大生4名の合計12名の学生がフィリピン・セブ島での短期留学MOONSHOT abroadに参加しました。平日は語学学校のCES (Cebu English School)でマンツーマン中心の英語の授業、週末は南の島でのジンベエザメツアーやアイランドホッピング、日本人が経営する寺子屋Tiva's Homeでのスタディツアーなど日本では味わえない充実した時間を過ごしました。

参加学生たちは8月31日(日)～9月14日(日)の2週間という短い期間ですが、積極的なコミュニケーション能力、異文化への理解、新しいことに挑戦するチャレンジ精神の大切さを学びました。



★ 能登復興ソレイユプロジェクト

今年度のソレイユプロジェクトは、6月に3年次の学生53名で発足し、震災から立ち上がる能登地域に寄り添い、「文化の継承」「地域交流」「復興への兆し」を軸に活動を行っています。現在、プロジェクトには3つのチームがあり、9月～11月にかけて、全チームが主に地域と連携した取り組みを実施しました。

1つ目のチームは、能登の伝統行事「キリコ祭り」を若い世代に伝えるため、広報活動を実施。9月13日(土)には穴水町の大町・川島祭に参加し、震災後も続く祭りの魅力を取材発信しました。今後も「どうすれば伝統文化に関心を持ってもらえるか」を考えながら活動を続けていきます。



2つ目のチームは、地域の食と交流を通じて活気を取り戻す活動を展開。10月12日(日)には輪島市で「食フェス」ことも縁日を開催し、約2000名が来場。地元食材の発信や世代を超えた交流が生まれ、地域コミュニティの再生につながる取り組みとなりました。

本プロジェクトを通して、学生が地域とともに歩み、復興へ寄り添う機会となりました。今後も継続して活動を進めていきます。

3つ目のチームは体を動かし、仲間と同じ釜の飯を食べることで心も体も温まる企画を実施。11月30日(日)に田鶴浜体育館で「運動会・100人カレー」を開催しました。当日は親子を中心に約50名の地元住民が参加し、学生が考案した手遊び運動や玉入れなどの競技を通して、笑顔あふれる交流の時間となりました。昼食には、地元のサツマイモや能登の新米を使った手作りカレーライスを提供し、参加者全員で温かい食事を囲むことで、身も心もほっとするひとときを共有しました。

短大 65名でほしたび北海道!

9月7日(日)～10日(水)、今年も3泊4日の行程で「ほし☆たび北海道2025」を実施しました。自分の「これまで」と「これから」を知る、プレゼンテーション力を高める、就活を終えた先輩のすごさを知るの3つをテーマに、フェリー内で研修を行う洋上就職合宿クルーズが「ほし☆たび」。5月の説明会から始まり、参加者面談、キックオフ研修などを経て、クルーズスキップの計65名はそれぞれの課題に勇氣をもってチャレンジし、成長できた旅となりました。



短大 第24回流星祭 「爆笑!笑顔流星群がやってくる」を開催しました!

11月1日(土)～3日(月・祝)の3日間にわたり、第24回流星祭を開催しました。今年、「笑顔は人を幸せにする。金沢星稜大学から幸せをみなさんに与えたい!」の思いから、「爆笑!笑顔流星群がやってくる」をテーマに決め、夏から準備を進めてきました。

学生団体による模擬店が25店舗並び、多彩な飲食メニューを提供し、行列が並ぶ店舗もあるなど賑わいました。屋内では子ども向けゲームコーナー、ワクワク科学教室、VR・ドローン体験、お化け屋敷、お茶会、蜜蝋ラップ作り、ジャズカフェ、軽音楽部ライブ、麻雀体験などが催され、幅広い世代の方に楽しんでいただきました。

メインステージでは、実行委員会企画のほかにミュージックサークル、吹奏楽部、軽音楽部、SBJBによるライブ、Highway Star、CRASHによるダンスパフォーマンスを行い日頃の練習成果を発表し、会場を盛り上げてくれました。また「金澤紅屋」が協力による着物ファッションショーでは、彩り鮮やかな和服を身にまとい、照れながらランウェイを歩いて着物を披露しました。

そして今年のゲストは2組。ドラマ主題歌も決まり、今、聴くべきバンドとして注目を浴びているロックバンド「This is LAST」が2日に稲置講堂にてライブを開催し観客を魅了。そして3日には「千鳥の鬼レンチャン」でおなじみのまねタレント「たむたむ」と「沙羅」夫婦がメインステージで共演、会場を笑顔いっぱいしてくれました。

天候に恵まれませんでしたが、それでもたくさんの方に「ご来場いただき、誠にありがとうございました。」



★ 国際大会・ 全国大会出場！

第38回世界トランポリン競技選手権大会
山崎 凌空（スポーツ学科4年次）
美田 靖文（スポーツ学科3年次）
赤石 泰雅（国際文化学科1年次）
第2回世界ジュニアトランポリン
競技選手権大会・
第31回世界年齢別競技大会
木村 心春（スポーツ学科3年次）
今本 修成（スポーツ学科2年次）
澤田 守杏（スポーツ学科2年次）
都竹 奏翔（スポーツ学科2年次）

トランポリンワールドカップアンティープス大会
山崎 凌空（スポーツ学科4年次）
木村 心春（スポーツ学科3年次）
美田 靖文（スポーツ学科3年次）
赤石 泰雅（国際文化学科1年次）
第62回全日本トランポリン競技選手権大会
山崎 凌空（スポーツ学科4年次）
木村 心春（スポーツ学科3年次）
美田 靖文（スポーツ学科3年次）
今本 修成（スポーツ学科2年次）
澤田 守杏（スポーツ学科2年次）
都竹 奏翔（スポーツ学科2年次）
松岡 龍吾（スポーツ学科1年次）
赤石 泰雅（国際文化学科1年次）

2025川崎トランポリンジャパンオープン
山崎 凌空（スポーツ学科4年次）
木村 心春（スポーツ学科3年次）
美田 靖文（スポーツ学科3年次）
今本 修成（スポーツ学科2年次）
澤田 守杏（スポーツ学科2年次）
都竹 奏翔（スポーツ学科2年次）
番所 駿斗（スポーツ学科1年次）
松岡 龍吾（スポーツ学科1年次）
赤石 泰雅（国際文化学科1年次）
第78回秩父宮賜杯全日本バレーボール
大学男子選手権大会
男子バレーボール部

★ 金沢版ふるさと納税制度活用 大学寄付金について

10月1日より、金沢市へのふるさと納税で本学を支援いただけるようになりました。

「金沢版ふるさと納税制度活用大学寄付金」で、支援先を金沢星稜大学に指定いただくことで、寄付額の7割が金沢星稜大学へ寄付されます。

金沢版ふるさと納税制度活用大学寄附金制

金沢市内の大学を支援してみませんか？

- 金沢市へのふるさと納税で本学を支援する方が、ふるさと納税の特典として、大学寄附金として寄付された金額を、本学の活動に活用させていただきます。
- 本学の活動に活用した金額は、金沢市へのふるさと納税の控除額から差し引かれます。
- 本学への寄付金は、金沢市へのふるさと納税の控除額から差し引かれます。

寄付の流れについて

金沢市へのふるさと納税 → 大学寄附金として寄付 → 本学の活動に活用

金沢市へのふるさと納税の特典として、大学寄附金として寄付された金額を、本学の活動に活用させていただきます。

金沢市へのふるさと納税の特典として、大学寄附金として寄付された金額を、本学の活動に活用させていただきます。

★ Sel-Tan Act! 第1回 〜サンドグラスとぶどう狩り体験〜

星短生の声をもとに企画・実施している課外活動「Sel-Tan Act!」その第1回「サンドグラスとぶどう狩り体験」を9月5日（金）に実施し、10名が参加しました！

午前中は「ゆのくにの森」でガラス工芸のサンドグラス体験に挑戦！専用シール紙を使ってタンブラーの表面に文字やイラストを配置し、サンドグラス機で砂を吹き付けてすりガラス加工してもらいました。砂で研磨された部分だけが白く浮かびあがり、光がやわらかく反射する自分だけのタンブラーを完成させることができました。

午後は、加賀市で100%有機栽培をしている「ぶどう園」ぶどうやさん西村」を訪ね！堆肥と減農薬で育てられた安心安全で美味しい巨峰やブラックオリンピアについてお話を伺い、実際に収穫して採れたてのぶどうを味わいました。地元・石川県の豊かな自然環境で育ったぶどうについて、どのような環境で生産されているのか、どのようにして守られてきたのかを学びながら収穫することで、美味しい果実が食べられる喜びや、生産者の方々への感謝の気持ちを改めて実感する1日になりました。



★ Sel-Tan Act! 第2回 〜大自然とレトロを満喫！冒険アクト〜

9月9日（火）〜10日（水）、Sel-Tan Act! 第2回「大自然とレトロを満喫！冒険アクト」を開催し、9名が元気に活動を行いました！

冒険の舞台となったのは岐阜県郡上市・東海地区最大級の石灰洞窟「大滝鍾乳洞」に到着した学生たちは、木製ケーブルカーで鍾乳洞の入り口へと向かい、内部に潜入。洞内には、身をかがめないと通れない狭い通路や、険しい岩場を登り降りするような急な階段がたくさんありましたが、その先に待ち構える迫力ある鍾乳石や最深部の地底の大滝は神秘的で、大自然の造形と歴史に学生たちは始終圧倒されていました。大滝鍾乳洞の探検を終えた学生たちは、食品サンプルの町としても有名な郡上八幡に移動し、食品サンプルの創作体験ができる「さんぶる工房」を訪問。かわいらしいスイーツタルトのメモスターンド作りを楽しみました。また、レトロと食品サンプルのアーートを融合した日本唯一の観光施設「レトロアート館」も見学。昭和から平成にかけて人々の生活を彩ってきた家電製品や玩具、書籍や雑誌など数多くのレトロアイテムを見たり触れたりしました。

その後、郡上ヴァカンス村でスリル満点の空中アスレチック「ウッドアドベンチャー」を体験。先に進むと後には戻れない13のアトラクションに「怖い!!」「無理!!!」と叫んでいた学生たちでしたが、不安と恐怖心と戦いながらも命綱をしつかりと握りしめ、みんなで励ましあいながら少しずつ前へと進みました。最後のロングジップラインを終えて、地上に降り立った学生たちは安堵した表情と達成感あふれる笑顔でした。



★ Sel-Tan Act! 第3回 〜水引・着物着付け体験〜

11月5日（水）、Sel-Tan Act! 第3回「水引・着物着付け体験」を開催し、17名が参加しました。

午前中は学内で「水引」飾りの制作を体験。講師の方から「あわじ結び」と「梅結び」の手ほどきを受け、色とりどりの水引を丁寧に結び上げ完成させました。そのあと、兼六園のすぐそばにある「金沢きもの花恋」に移動し、着物の着付けを体験。店舗にならんだ鮮やかな着物、帯、小物の中からお気に入りのものを選びました。スタイリストさんにヘアセットもしていただき、華やかに仕上げてもらいました。着付けを終えた学生たちはひがし茶屋街を散策し、宇多須神社を参拝。晴天の中、風情ある街並みに着物姿がよく映え、お互いに写真を撮り合ったり紅葉を楽しんだりしました。

金沢の伝統工芸「水引」と日本の伝統文化「着物」に触れ、充実した1日となりました。



★ 第64回星稜祭♪君と星春、星稜祭！〜が開催！

9月4日(木)・5日(金)、第64回星稜祭を開催しました。1年生はフォトスポット・ワークショップ、2年生はステージ発表、3年生はクラステナントを実施しました。校内では文化部の作品が彩りを添え、稲置講堂では星稜祭実行委員らによるセレモニーや、ベリーグッドマンのライブが行われ、大いに盛り上がりました。生徒一人ひとりが笑顔で、全力で楽しんだ2日間となりました。



★ 第64回星稜高等学校運動会を行いました。

9月26日(金)、いしかわ総合スポーツセンターで第64回星稜高等学校運動会を行いました。例年のクラス対抗競技に加え、学年の垣根を越えた団体対抗戦が今回の見どころとなりました。普段関わるのが少ない学年やコースの生徒と交流することで、本校生徒としての輪が更に大きくなったのではないのでしょうか。これからも星稜でしか味わうことができない行事を楽しんでほしいと思います。



★ スマイルおむすびプロジェクト

株式会社ファミリーマートが企画した「スマイルおむすびプロジェクト」(大谷翔平選手パッセージ)に、演劇部生徒(在籍23名)が応募をしました。多数の応募の中から選考が行われ、石川県では本校演劇部が唯一選出されました。これを受け、10月15日(水)、校内にておむすびの贈呈式が行われました。式は、サプライズで進めることが条件として求められていたため、演劇部の生徒は日々の部活動と変わらぬ様子で集合しました。そこで、顧問がおにぎりの差し入れに関する手紙を読み上げ、文末で手紙の送り主がMLBドジャーズの大谷翔平選手と明かされると、会場内は歓喜に包まれました。その後ファミリーマートの社員の方から選出までの経緯について説明があり、同時にたくさんのおにぎりがふるまわれました。ファミリーマート様、このような機会を作っていただきありがとうございます。



★ 赤本贈呈式を行いました！

第一志望大学合格を目標に「赤本チャレンジ2025」にエントリーしていた3年生の中で、見事チャレンジに成功した21名に対して、10月16日(木)の昼休みに赤本贈呈式を行いました。お互いに温かい拍手で称え合う和やかな時間となりました。約3カ月で河合塾全統共通テスト模試の合格判定を大幅にアップさせることは大変な努力が必要だったと思います。この自信を胸に、本番に向けたラストスパートを期待しています！



★ 2年生 選挙出前講座(模擬投票)を行いました。

10月17日(金)、選挙出前講座(模擬投票)を実施しました。選挙管理委員会の方に「来校いただき、選挙の意義や選挙制度について説明をしていただいた後、実際に投票を行いました。代表生徒が投票管理者や投票立会人を行うなど、とても有意義な時間になりました。成人の自覚を持ち、社会の一員として行動していく大切さを改めて確認することができました。



★ 第22回星稜Historical tourを実施しました。

11月1日(土)、星稜Historical tourを実施しました。22回目は、時代の遺産が息づく京都府北部の天橋立、舞鶴を旅しました。天橋立は1643年に林羅山が「日本の三景」として初めて言及し、江戸時代から人気の景勝地です。また舞鶴は、明治時代以降、旧海軍の拠点として栄え、戦後は引揚者を迎える入る拠点となった場所です。今回も地歴公民科の先生方と素敵な旅になったことは生徒の表情からも伝わりました。



★ 1年生 イングリッシュキャンプを行いました。

9月3日(水)〜5日(金)、英語漬けの3日間を過ごしました。1日目は各グループで外国人講師の出身国や文化について楽しく学びました。2日目はひがし茶屋街に行き、英語で日本文化を紹介しながら観光案内をしました。最終日は3日間で学んだ内容をプレゼンテーションにまとめ、全員の前で発表しました。英語によるグループ活動を通じて、仲間と協力し合いながらコミュニケーション能力や発表スキルを伸ばしました。



★ 3年生 修学旅行に行ってきました！

9月3日(水)〜5日(金)、2泊3日の修学旅行に行ってきました。関西万博では新しい文化に触れ、宮島広島平和記念資料館では世界遺産の迫力、戦争の恐ろしさを体感しました。最終日はユニバーサルスタジオジャパンで友人と共に楽しいひとときを過ごしました。新たな文化や過去の戦禍に触れた生徒たちからは、「今があることに感謝しなければいけない、一日一日を大切に生活していきたい」といった声がありました。



★ 運動会を行いました！

9月26日(金)、本校グラウンドで第53回運動会を行いました。応援ダンスバトルや大縄跳び、チーム対抗リレーなど全10種目を行い、熱戦を繰り広げました。3学年を縦割りして赤・青・黄の3つの団に分け、学年関係なく力を合わせて協力する姿から本校の底力を強く感じる事ができました。計算バトルの点数も大きく影響し、生徒たちは最後まで戦い抜きました。



★ 星稜中学校文化祭 「星火祭」を行いました。

10月10日(金)、星火祭を行いました。中学校単独開催の文化祭としては今年で2回目です。オープニングセレモニーでは、生徒会によるオープニング動画や3年生の劇ダンスが会場を盛り上げました。また、校舎内には様々なゲームや自主映画上映など、各クラスの趣向を凝らした出し物が並び、生徒たちのにぎやかな声と笑顔があふれました。生徒たち自身の手で作り上げた、とても温かな文化祭となりました。



★ 2年生 DIG (Disaster Imagination Game) 訓練を行いました。

10月27日(月)、警察の方をお招きし、DIG (Disaster Imagination Game) 訓練を行いました。訓練では、地図を使って学校周辺の災害危険地域や避難所を確認しながら、災害時の行動について考えを深めました。また、防炎クイズや防犯講習も実施し、楽しく学びながら防災意識を高めることができました。



★ 中高 7月からの主な部活動成績

【星稜高等学校】

第107回全国高等学校野球選手権石川大会

- 国歌・大会歌独唱 竹田 夏姫

令和7年度全国高等学校総合体育大会 第70回 全国高等学校弓道大会

- 女子個人 第6位 澤越 楓花

第50回全国高等学校トランポリン競技選手権大会

- 団体競技男子 第1位 田山 雄貴、長谷川 碧人、大西 良玖
- 個人競技男子 第1位 長谷川 碧人
- 個人競技男子 第2位 田山 雄貴
- シンクロナイズド競技男子 第1位 長谷川 碧人、田山 雄貴
- 団体競技女子 第3位 南 葉奈、天内 李音

- 個人競技女子 第5位 塚本 莉子
- シンクロナイズド競技女子 第1位 石坂 莉乃、塚本 莉子

第45回石川県高等学校総合文化祭 第77回石川県高等学校演劇合同発表会

- 最優秀賞、観客動員奨励賞、生徒講師委員会賞

第67回 石川県合唱コンクール

- Aグループ 銀賞

石川県高等学校バドミントン大会学校対抗の部

- 女子学校対抗 第1位

第20回 高文連英語部英語スピーチコンテスト

- 入賞 新 紗綾

第33回石川県高等学校声楽コンクール

- 優秀賞 竹田 夏姫

第48回(令和7年度)地区高等学校テニス大会

- 男子シングルス 第3位 川西 由人
- 男子ダブルス 第2位 堀内 聡介、川西 由人

第69回 北陸陸上競技選手権大会

- 一般女子100m 第3位 能口 心和
- 一般女子走幅跳 第3位 石本 愛佳

WRO 2025 Japan 決勝大会

- Robo Mission エキスパート競技 シニア部門 第3位 吉田 旭輝、土原 匠真

令和7年度 石川県高等学校新人体育大会

- 女子50m背泳ぎ 第3位 近江 心愛
- 女子100m背泳ぎ 第3位 近江 心愛

第28回JOCジュニアオリンピックカップ U16陸上競技大会石川県予選会

- 三段跳 第1位 桑名 希一
- 1000m 第1位 澤田 鷹玖

第52回石川県トランポリン競技選手権大会

- 第3位 塚本 莉子

令和7年度 石川県高等学校新人体育大会

第67回石川県高等学校新人陸上競技大会

- 男子総合 第1位
- 男子トラック 第1位
- 男子フィールド 第1位
- 男子100m 第1位 松田 涼太
- 男子200m 第2位 松田 涼太
- 男子800m 第1位 菊安 渉
- 男子1500m 第2位 徳山 潤
- 男子3000mSC 第1位 徳山 潤
- 男子5000mW 第1位 濱 一誠
- 男子5000mW 第2位 北川 琉空
- 男子110mH 第3位 吉田 虎ノ介
- 男子走幅跳 第1位 大橋 由剛

- 男子走高跳 第2位 森田 悠斗
- 男子三段跳 第1位 濱野 翔琉
- 男子砲丸投 第1位 門田 育知
- 男子円盤投 第1位 門田 育知
- 男子八種競技 第1位 廣川 祥真
- 男子八種競技 第2位 宗藤 煌
- 男子八種競技 第3位 堺井 蒼士
- 男子4×100mR 第2位 大橋 由剛、松田 涼太
- 男子4×400mR 第3位 菊田 楓、吉森 匠柁
- 女子総合 第1位 村 友誠、菊安 渉
- 女子トラック 第1位 松田 翔太、小菱 桜雅
- 女子フィールド 第1位
- 女子100m 第3位 能口 心和
- 女子400m 第3位 松山 桜彩
- 女子800m 第1位 中村 沙耶
- 女子800m 第3位 松山 桜彩
- 女子1500m 第1位 中村 沙那
- 女子走幅跳 第1位 藤本 茉優
- 女子走幅跳 第2位 能口 心和
- 女子走幅跳 第3位 川合 優那
- 女子三段跳 第1位 藤本 茉優
- 女子砲丸投 第1位 湯浅 華子
- 女子円盤投 第2位 湯浅 華子
- 女子七種競技 第1位 谷口 依吹
- 女子七種競技 第2位 鬼頭 明沙
- 女子4×100mR 第3位 藤本 茉優、能口 心和

令和7年度 石川県高等学校新人体育大会 テニス競技

- 女子ダブルス 第3位 中森 琶菜、前田 柚菜
- 女子シングルス 第3位 中森 琶菜

第153回北信越地区高等学校野球石川県大会

- 第3位

香港2025U20東アジア陸上競技選手権大会

- 100m 第2位 清水 空跳

第79回 国民スポーツ大会

- 少年男子A100m 第1位 清水 空跳
- 少年女子B走幅跳 第1位 藤本 茉優

第79回 国民スポーツ大会

- サッカー競技少年の部 第3位 中西 蔵之佐、松本 佑輝
- 池田 恭志郎、藤島 蒼太
- 宮田 葉玖斗

第30回 北信越高等学校新人陸上競技大会

- 男子110mH 第7位 吉田 虎之介
- 男子800m 第1位 菊安 渉
- 男子3000mS.C 第3位 徳山 潤
- 男子5000mW 第3位 濱 一誠
- 男子5000mW 第4位 北川 琉空
- 男子走高跳 第1位 森田 悠斗
- 男子走幅跳 第2位 大橋 由剛
- 男子八種競技 第4位 宗藤 煌
- 女子円盤投 第7位 湯浅 華子
- 女子七種競技 第6位 谷口 依吹

令和7年度 石川県高等学校新人体育大会 ソフトボール競技

- 男子の部 第2位

第153回 北信越地区高等学校野球大会

- 第3位

【星稜高等学校】

- 令和7年度 石川県高等学校新人体育大会 ソフトボール競技
 - 女子の部 ・第3位
- 第19回 U18 / 第56回 U16陸上競技大会
 - U18男子やり投 ・第2位 横川 徹成
 - U16女子走幅跳 ・第1位 藤本 茉優
- 第62回全日本トランポリン競技選手権大会
 - シンクロナイズ部門男子 ・第8位 神山 空駕
 - 団体部門女子 ・第2位 塚本 莉子、石坂 莉乃
 - シンクロナイズ部門女子 ・第8位 塚本 莉子
- 令和7年度 県高等学校空手道新人大会
 - 男子団体組手 ・第2位
 - 男子団体形 ・第2位
 - 男子個人組手 ・第3位 古瀬 結翔
 - 女子団体組手 ・第3位
- 第76回 全国高等学校男子駅伝競走選手権大会 石川県予選会
 - 高校男子総合 ・第3位
- 第37回 全国高等学校女子駅伝競走選手権大会 石川県予選会
 - 高校女子総合 ・第2位
 - 高校女子区間賞 第1区6.0km ・第1位 辻本 ひまり
- 第104回全国高校サッカー選手権大会石川県予選
 - 第3位
- 第44回 北信越高等学校新人ソフトボール大会
 - 第3位
- 第19回中部日本個人・重奏コンテスト石川県大会
 - 個人の部 ・金賞 正水 沙弥
 - 個人の部 ・銀賞 大津 梨花子
 - 個人の部 ・銀賞 天田 朋杏
 - 個人の部 ・銀賞 亀塚 柚月
 - 個人の部 ・銅賞 岩城 心
- 第33回 石川県高等学校野球1年生大会
 - 第3位
- 令和7年度 石川県高等学校新人体育大会 弓道競技
 - 個人女子の部 ・第2位 寺分 亜依
- 第45回 石川県高等学校秋季大会
 - 男子団体戦 ・第1位 小早川 拓海、池辺 護、中川 真志
 - 個人戦Aリーグ ・第2位 小早川 拓海
 - 個人戦Aリーグ ・第3位 池辺 護
 - 個人戦Bリーグ ・第2位 嶋倉 悠多
- 第47回 英語劇発表会(ドラマフェスティバル)
 - 第3位
 - 優秀賞 中澤 実玖
- 第5回邦楽新人演奏会
 - 箏曲部門 ・優秀賞
- 令和7年度 石川県高等学校新人体育大会 剣道競技
 - 男子団体 ・第3位
- 令和7年度 石川県高等学校新人体育大会 トランポリン競技
 - Aクラス個人男子 ・第1位 中井 大翔
 - Aクラス個人女子 ・第1位 塚本 莉子
 - Aクラス個人女子 ・第3位 天内 李音
- 2025 川崎トランポリンジャパンオープン 兼 全日本社会人選手権大会 兼 JOC ジュニアオリンピックカップ
 - 17-18歳男子 ・第1位 中井 大翔
 - 17-18歳女子 ・第1位 塚本 莉子
- 令和7年度 石川県高等学校新人体育大会
 - サッカー競技男子の部 ・第3位

石川県アンサンブルコンテスト金沢支部大会

- サクソフォン六重奏 ・金賞・支部代表
- クラリネット五重奏 ・金賞・支部代表
- フルート六重奏 ・金賞・支部代表

第48回 石川県学生写真コンクール

・特選 石川県教育委員会長賞(3位) 森 優月

第41回 北信越高等学校囲碁選手権大会

- 男子団体戦 ・第1位 小早川 拓海、池辺 護、中川 真志
- 男女個人戦B級 ・第2位 中川 真志

【星稜中学校】

第42回石川県ジュニアトランポリン競技選手権大会

- ハイクラス中学生男子の部 ・第2位 室野 尊
- ハイクラス中学生女子の部 ・第1位 大熊 七翠

第46回北信越中学校総合競技大会サッカー競技

・第1位

第42回全日本少年軟式野球大会ENEOSトーナメント

・第2位

金沢市早朝野球協会会長旗争奪 第25回金沢市中学校野球大会

・第1位

第62回全日本トランポリン競技選手権大会 予選会

・第15位 大熊 七翠

第52回石川県トランポリン競技選手権大会

- 男子部門 ・第3位 室野 尊

金沢市中学校新人陸上競技大会

- 男女共通1500m ・第2位 宗藤 舜

令和7年度 金沢市中学校秋季新人競技大会 剣道競技

- 男子団体 ・第3位

第13回 石川県中学校ゴルフ選手権大会

- 男子の部 ・第2位 北村 真寛

令和7年度 金沢市中学校秋季新人大会 サッカー競技

・第1位

令和7年度 金沢市中学校秋季新人競技大会 軟式野球競技

・第1位

第19回 金沢市テニス協会 ジュニアテニス大会

- 男子シングルス ・第2位 浦井 敦仁

R7年度石川県中学校新人テニス大会

- 男子個人シングルス ・第2位 浦井 敦仁

加賀地区中学校新人体育大会

- 男子1500m ・第4位 宗藤 舜
- 女子800m ・第7位 春山 燎里

第25回 石川県中学校新人サッカー大会

・第1位

第70回 加賀地区中学校新人野球大会

・第1位

石川県野球協会会長旗争奪 第26回中学校野球選手権大会

・第1位

第19回中部日本個人・重奏コンテスト石川県大会

- 個人の部 ・銅賞 川合 詩音

金沢市中学校 新人駅伝競技大会

- 男子団体の部 ・第8位 宗藤、坂東、浦、城戸
- 男子個人の部 ・第5位 宗藤 舜

【星稜中学校・高等学校】

一般社団法人日本理科教育学会 第75回全国大会ジュニアセッション
・優良賞



「ハロウィンハロウィン」の絵本が大好きなことり組の子どもたち。読んでいるうちに「マント着てみたい!」「お化けに変身したい!」「それでハロウィンしたい!」という思いがあふれてきました。変身して絵本の主人公になりきってかぼちゃを探そうゲームを楽しみました。

ひなひよこ組は階段を登りプレールームへ行くのが楽しみです。マットの上で転がったりアルピニオに登ったりトンネルの中に入ったりしながら思い思い体を動かして遊んでいます。友達の間を走って同じことをしようとしていたり、自然に手をつなぎ笑いあったり、友達がいいな!一緒にいるとうれしいな!という気持ちが生まれているのが伝わります。





☆絵本の読み聞かせ☆

8月28日(木)、北陸朝日放送(HAB)の森重有里彩アナウンサーと菅井智絵アナウンサーが社会貢献事業の一環ではありますが園にお越しになり、普段テレビを通して拝見するお二人が今日だけは園児に対してのみ絵本の読み聞かせを行ってくれました。

読み聞かせの後には、EXPO2025

大阪・関西万博にちなんだクイズ等も出題され、園児の意外な回答に驚く場面も見受けられました。流石プロのアナウンサー、冷静に神対応で対処し、最後は園児の笑顔をたくさん引き出してくれた会となりました。



☆創立60周年記念祭☆

【記念祭ステージ】

11月6日(木)、星稜幼稚園創立60周年記念祭が開催されました。稲置講堂を会場としたオープニングでは、金沢星稜大学人間科学部教授の直江学美氏が保護者の田村さやかさんのピアノに合わせ音楽を披露し、その後は園児合唱や課外活動のヒップホップダンス発表、また年長児と職員有志による【よさこいソラン】の披露もあり、ステージと会場が一体となって盛り上がりました。

ステージ発表の後には、場所を金沢星稜大学へと移し、移動動物園や親子運動遊び、ボードゲーム大会など親子で楽しみました。



【移動動物園】

星稜大サブアリーナに移動動物園がやってきました。アヒルやカメ、モルモットのエサやりなど貴重な体験を楽しみ、間近でたくさん動物と触れ合いました。鷹ショーでは大きく羽ばたく鷹の姿に「おー！」と歓声が上がりました。子どもから大人まで楽しみました。



【積み木で遊ぼう】

積み木おじさんことおもちゃデザイナーの相沢康夫さんが積み木ショーを披露し、子どもから大人まで童心に戻って魅力あふれるショーを楽しみました。ショーを見た後は《リグノ》《アンゲラ》《ハニーフラワー》《モザイク》などを使って積み木遊びを楽しみました。



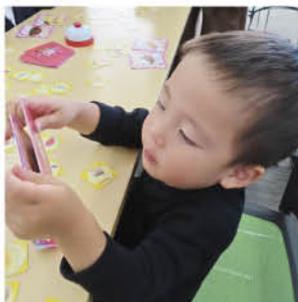
【ボードゲーム大会】

大人は《ギョット》子どもは《レシピ》のカードゲームを使いボードゲーム大会が開催されました。ボードゲームの輸入代理店代表の畑直樹さんより景品が用意され、大人数子どもともに白熱したゲームが繰り広げられました。午後に行なわれた決勝戦では景品をかけてさらに盛り上がり、参加者皆さんとても楽しそうでした。大会の他、《スボットライト》や《ミスターダイヤモンド》など色々なゲームも楽しみました。



【はたらくくるま】

星稜大にパトカーや白バイがやってきました。大きな白バイにまたがり記念撮影をしたり、警察官の制服を着てポーズを決めていた子どもたち。中々ない貴重な体験に大興奮でした。



【親子運動あそび】

広い体育館に設定されているマットやとび箱、平均台などのサーキットを楽しみました。ボールを蹴ったり投げたりなど体を存分に動かし「面白かった」「もう1回する！」など大満足の子どもたちでした。お父さんやお母さんに両足を持つてもらい、バランスをとるなどの触れ合い運動遊びも楽しみ、親子ともに満面の笑顔が見られました。



【プログラミング】

タブレットを使い《魚を集めて水族館》《ロケットを飛ばそう》《扇風機を回そう》などいくつかあるコンテンツの中から

好きなものを選び、プログラミング体験を楽しみました。集中してじっくり取り組む姿が見られ「面白い!!」「もう1回したい!!」と何度も体験する子どもたちも見られました。



【LaQであそぼう】

LaQ博士渾身の作《龍》《虎》《LaQで作る遊べるおもちゃ》などたくさん作品をお持ちしてLaQ博士こと善積良介さん(別名:LaQレッド)がやってきました。魅力溢れる映像や迫力ある作品を通してLaQの面白さや楽しさが紹介され、賑やかな雰囲気の中、子どもたちはコマやメガネのキットを使い、オリジナルの作品作りを楽しみました。



【昼食】
親子、友達同士などであげやおにぎりを美味しそうに食べていた子どもたち。特におさつスティックが「おいしいね」「お芋がホクホク!!」と大人気でした。



☆100の秋☆
いっばいの秋まつり☆

10月10日(金)に秋まつりを開催し、午前中は移動動物園Noo Timeさんをお招きしました。子どもたちは動物たちにエサをあげたり観察したりし、「手からエサを食べてくれた!」「くすぐったかった」と喜んでいました。

午後からは飲食店やゲームコーナー、年長児のお店、園児や卒園児の保護者による手作りの品のお店などを開き、お家の人と一緒にお買い物を楽しみました。また、年長児の太鼓披露や職員による演奏会を行い、園児やその家族が聞き入っていました。金沢市総合体育館で実施した金沢星稜大学 井川貴裕人間科学部助教によるサーキット遊びコーナーでは、走って往復のタイムを競ったり円柱型のマットにまたがったりと、ダイナミックに体を動かす遊びが体験でき、盛りだくさんの1日となりました。



☆いしかわ動物園へ行ったよ☆

以前から何度も遊びの中でラクキューや積み木を使って動物園を作って遊んでいた年長組が、実際に動物園へ動物を見に行くことになりました。事前に3つのグループに分かれ、それぞれ特に見たい動物や道のりを相談しました。動物図鑑や地図を見ながら友達と意見を交わしていました。

実際に動物園へ行くと、大迫力の動物たちに歓声を上げていました。生態についての解説にもじっくりと目を向けていました。皆で食べるおにぎりも美味しかったね！



☆保護者会主催 親子でピザ作り☆

11月22日(土)、園庭に設置してあるピザ窯を使ったピザ作りイベントを保護者会が主催し、第1部・第2部合わせて約20組の親子がイベントに参加しました。

お好みの具材やケチャップをトッピングし、熱々のピザ窯に入れるとあっといいう間においしいピザが焼けました。おいしいピザを味わって、親子でほっこり♡な良い時間でした。



☆石川初！ベビトレヨガレッスン☆

子育て広場に参加した親子がベビトレヨガを楽しみました。ベビトレヨガインストラクターは、以前、星稜泉野幼稚園に勤めていたYoshikoさんです。子育て広場で親子一緒に心と身体を整える、特別なハッピータイムになりました。ベビトレ、ママトレ、スマイルの3つの要素が入っているベビトレヨガです。



WROロボミッション シンガポール国際大会に日本代表として出場の 土原匠真さんと吉田旭輝さんにお話を伺いました。



WROロボミッション シンガポール国際大会

開催日: 2025年11月26日~28日

会場: Sands Expo and Convention Centre
in Marina Bay Sands, Singapore

参加資格: WRO Japanを通じて選出されたチームが参加

Q1 国内予選を勝ち抜き国際大会出場しましたが、振り返ってみていかがでしたか?
石川予選で優勝し、全国大会では33チーム中3位となって世界大会出場権を得ました。世界大会では95チーム中42位でしたが、本番3日目に練習通り動いていれば5位になれた可能性があったのでとても悔しかったです。

Q2 ロボットコンテストは大会ごとにルールや与えられるミッションは違うのですか?
WRO (World Robot Olympiad) のロボミッション競技では、与えられたミッションに挑戦し、クリアすることにもらえる点数のトータルを競います。競技は3日間で1日目が練習、2日目が事前発表されたルールでプログラミングを競い、3日目は当日発表されるルールを踏まえて短時間で多くの動きを作り、得点を競います。役割分担は吉田がロボット制作の大部分とプログラミングを担当し、土原が制作の一部や整備、記録などを担い、どちらが欠けても成り立たない関係となっています。

Q3 ロボットの形状や重さ、動力となる電力、その他の統一制限などありますか?
ロボットの規格は予選から世界大会まで共通で、幅・奥行・高さがそれぞれ25cm以内、重さ1.5kg以下、モーターは最大6つまでといった制限があります。フィールドの狭い場所もあり、小型ロボットが有利とされていますが、自分たちのロボットはやや大きめだったのでプログラミング面で苦労しました。

Q4 お二人とも中高一貫理数コースに在籍していますが、大会に参加したきっかけは?
自分(吉田)は小5からロボットコンテストに参加していました。中1の科学部で土原と仲良くなり、「一緒に大会に参加しよう」と誘いました。

Q5 ロボットコンテストの参加にあたって最も影響力のあった人物や師と仰ぐような方はいますか?

練習拠点としている「ミミミラボ」(金沢市芳斉)の溝渕館長です。毎日夜遅くまで場所を提供してもらったり、アドバイスもいただいたりしたのでとても感謝しています。

Q6 ロボットを自由に動かすには、高度なプログラミングが要求されませんでしたか?

思い通りに動かないことが多く、試走、失敗、修正を何百回、何千回と繰り返しながら改良していきました。周囲にロボットについて詳しい人がおらず、基本的に独学でネットやYouTubeを参考に再現、応用して学んだことがむしろ強みとなりました。仕組みをゼロから理解したことで、新しいことやトラブルにも対応できるようになりました。

中高一貫理数コース
高校2年生(5期生)



吉田旭輝さん

土原匠真さん

公務員採用試験129名、教員採用試験111名最終合格!

(2025年12月25日現在、現役学生合格者延べ人数)

◎公務員採用試験(大学)

1次試験合格率:94.8%
(行政職94.2%、公安職100%)
2次試験合格率:82.8%
(行政職80.8%、公安職100%)

公務員採用試験合格者数:101名
(行政職80名、公安職14名、外郭団体7名)

国家公務員

国家公務員一般職(大卒)	21名
国税専門官	17名
財務専門官	1名
労働基準監督官	2名
裁判所職員一般職(大卒)	1名
皇宮護衛官	1名

地方公務員

石川県(行政・警察行政)	11名
金沢市(事務)	7名
白山市(行政)	4名
野々市市(行政)	1名
内灘町(一般行政事務)	2名
富山県(総合行政)	4名
富山市(行政)	3名
魚津市(行政)	1名
小矢部市(一般行政)	1名
南砺市(一般行政)	1名
朝日町(行政)	1名
東京都特別区I類	2名
石川県警察官(男性)	3名
石川県警察官(女性)	1名
富山県警察官(男性)	3名
富山県警察官(女性)	1名
警視庁警察官I類(男性)	2名
警視庁警察官I類(女性)	1名
京都府警察官(女性)	1名
富山市(消防職)	1名

特殊法人・外郭団体

国立大学法人等職員	3名
石川県信用保証協会	1名
石川県市町村職員共済組合	1名
白山市社会福祉協議会	1名
公立能登総合病院	1名

◎公務員採用試験(短大)

1次試験合格率:100%
2次試験合格率:100%
公務員採用試験合格者数:28名
(行政職25名、公安職3名)

国家公務員

国家公務員一般職(高卒)	10名
税務職員	1名
裁判所職員一般職(高卒)	4名
自衛隊一般曹候補生	1名

地方公務員

石川県(行政)	1名
石川県(警察行政)	1名
石川県(小中学校事務)	2名
金沢市(事務)	1名
白山市(行政)	1名
津幡町(一般事務)	1名
内灘町(一般行政事務)	2名
大阪府(行政)	1名
石川県警察官(女性)	2名

◎教員採用試験(現役学生)

1次試験合格率:100%
(小学校100%、中高保健体育100%、中高英語100%)
2次試験合格率:94.2%
(小学校97.8%、中高保健体育75.0%、中高英語100%)

教員採用試験合格者数(4年次):111名
(小学校104名、中高保健体育5名、高校商業2名)

小学校

石川県公立小学校	33名
富山県公立小学校	34名
福井県公立小学校	1名
新潟県公立小学校	10名
東京都公立小学校	3名
横浜市公立小学校	4名
川崎市公立小学校	6名
静岡県公立小学校	8名
静岡市公立小学校	1名
岐阜県公立小学校	2名
滋賀県公立小学校	1名
京都府公立小学校	1名

中学校・高校

石川県公立中高保健体育	1名
富山県公立中高保健体育	1名
福井県公立中高保健体育	1名
神奈川県公立中高保健体育	1名
大阪府中高保健体育	1名
石川県公立高校商業	1名
横浜市公立高校商業	1名

◎教員採用試験(卒業生)※実数

公立小学校/公立中高	12名
------------	-----

2025年度合格者の皆さん



◎簿記上級コース合格状況

試験名	合格者数	全国合格率
日商簿記検定1級	1名	14.0%
全経簿記上級	1名	14.4%

◎税理士試験科目合格状況

簿記論:合格率:35.2%
財務諸表論:合格率:66.7%

科目	科目合格者数	全国合格率
簿記論	6名	11.1%
財務諸表論	6名	31.9%

合格できたことに心から嬉しさを感じました。支えてくれた家族や友人、先生など、多くの方々の支えが報われた瞬間でもあり、本当に嬉しかったです。同時に「やりきったな」という思いも込み上げ、最後まで諦めずに勉強を続けてきて良かったと心から思いました。決して一人の力だけで掴めたものではありません。多くの方々の支えを受けながら、「絶対に合格してやる」という強い気持ちを持ち続け、一問でも多く得点するなど小さな成功を積み重ねることで、最終的に「合格」という大輪の花を咲かせることができたと思います。



長原 陽哉さん
経済学部 経営学科2年次
全経簿記上級合格
日商簿記1級合格

簿記上級ダブル合格

星稜高等学校出身者の声

石川県庁 合格



坂井 海帆さん
経済学部 経済学科

今までの受験は思うようにいかないことも多かったのですが、おそらく人生最後の受験を良い形で終えられて、達成感を感じました。また、最後まで静かに支え続けてくれた家族に感謝の気持ちでいっぱいです。この経験は自分にとって大きな自信となる貴重な成功体験になったと思います。

金沢市役所 合格



山出 暖大さん
経済学部 経済学科

合格するために大切なことは、CDPの試験や模試で間違えた問題を見直すことです。そして、時事については新聞やニュースを見たり、速攻の時事をやることをお勧めします。また、面接は一番重要なのでしっかりと対策してください。何より最後まで諦めないことが大切です。

国家一般職(北陸農政局) 合格



稲田 楓さん
短期大学部 経営実務科

合格した時は、自分の努力が報われたことを実感し、「頑張ってたかった」と心から思いました。勉強の過程での悩みや苦勞も全て意味があったと感じ、努力を続けた自分を誇らしく思うと同時に、働くときには自分の行動に責任を持つことが大切だと自覚しました。

国家一般職(北陸農政局) 合格



古川 桃江さん
短期大学部 経営実務科

第一志望だったこともあり、自分の番号が載っていたことや、内定の電話を頂いたときは思わず雄たけびを上げてしまいました。また、ここまで諦めずに頑張り続けた方々には、家族をはじめ、私を支えてくださった方々のお陰なので、心から感謝しています。無事に合格といった結果としての恩返しできて嬉しかったです。

津幡町役場 合格



山本 風花さん
短期大学部 経営実務科

合格した時は、これまでの努力や苦勞が報われたように感じ、純粹に嬉しい気持ちでいっぱいでした。勉強や面接練習など、思い返すと大変な時期もありましたが、それらを乗り越えた達成感も強く感じました。また、両親に合格を報告した際には、自分のことのように喜んでくれた姿を見て、さらに喜びが増しました。

石川県公立小学校教員 合格



豎畑 志乃さん
人間科学部 こども学科

採用候補者一覧に自分の受験番号を見つけた時には安心が第一にきました。その次に嬉しさが来て、今までがんばってきたことが結びついたことに、安堵していました。嬉しさと同時に、あと少しで自分も現場に入り担任を持つことへの不安がありますが、卒業まで学び続けます。

石川県公立小学校教員 合格



嶋田 りさ子さん
人間科学部 こども学科

「自信がつくまで練習」私は本番に弱く、緊張するタイプだったので、何度も練習したり、問題を解き、そして、必ず振り返りをしました。改善点を見つけて、苦手分野を中心に取り組み、むくむく意識する中で、少しずつ自信をつけることができました！仲間と協力して高め合うことも大切です！

石川県公立小学校教員 合格



道浦 美咲さん
人間科学部 こども学科

合格するために大切なことは、最後まで諦めずに試験対策に取り組むことです。勉強、模擬授業練習、小論文対策、面接練習を友達と予定を合わせながらたくさん行いました。友達同士で良い点、改善すべき点などを言い合うことによって、自分の実力を日々向上していくことができると思います。

石川県公立小学校教員 合格



東 優奈さん
人間科学部 こども学科

これまでの努力が結果に結びついたことの達成感と、一緒に教員を目指して頑張ってきた仲間や最後まで支えてくださったCDPの先生方、お世話になった先生方、そして保護者への感謝の気持ちでいっぱいでした。私一人ではこの合格を勝ち取ることはできなかったのですが、本当に感謝しています。

石川県公立小学校教員 合格



久野 歩美さん
人間科学部 こども学科

私は、高校・大学受験ともに第一志望に合格できなかったこともあり、今回の教員採用試験にはこれまで以上に強いプレッシャーを感じていました。その分、毎日一生懸命に勉強に取り組みできたので、合格を知ったときは本当に嬉しく、大きな達成感を得ました。やっとな親を安心させることができたと思い、心から嬉しかったです。

～その他星稜高校出身者の合格～

- ・金沢大学教職大学院 1名
- ・国税専門官(金沢国税局) 1名

CDP累計合格者数 1,410名(実数)

公務員 764名(大学591名、短大109名、保育64名)(2008～2025年度)

教員 579名(現役生397名、既卒生182名)(2010～2025年度)

税理士(科目合格) 67名(2008～2025年度)

2025年12月25日現在

総合研究所 SDGs産学地域連携センターだより



総合研究所

教育・研究の成果を還元する市民講座
好評を博した魅力ある3つの講座をご紹介します！

金沢星稜大学は地域に開かれた大学として、教育と研究の成果を地域社会に還元するために、公開講座などを通して地域の皆様に対し、広く学びの場を提供しています。今年度は既に全9回のうち7回開催しましたが、その中で好評を博しました魅力ある3つの講座をご紹介します。

【第1回】「国際共通語としての英語」と世界諸英語 —世界は英語をどう使っているのか—

開催日：5月24日(土)

講師：金沢星稜大学 人文学部 教授 田中 富士美

当日の講座では、今日のグローバル社会における国際共通語としての英語の役割と、その中で多様な広がりを見せるWorld Englishes(世界諸英語)の概念に焦点を当て、世界各地で英語がどのように使われているのかを具体的な事例を通して深く掘り下げました。具体的には、英語が非母語話者間でのどのように使われているのかを、各国の事例を交えながら解説しました。また、講座の中では、「私たちがどのような英語ユーザーを目指すべきか」という問いなどについて活発な議論が交わされました。これにより、画一的な「正しい英語」という概念だけでなく、多様な英語のあり方を理解し、自身のコミュニケーション目的に合わせて柔軟に英語を使いこなすことの重要性を再認識する貴重な機会となりました。



【第3回】VR(仮想現実)世界の体験と教育利用

開催日：7月26日(土)

講師：金沢星稜大学 人間科学部 教授 清水 和久

当日の講座では、冒頭にAR(拡張現実)、VR(仮想現実)、MR(複合現実)の違いに触れました。また、遠足などの訪問場所をあらかじめ360度カメラで撮影し、小学生たちに危険な場所を疑似体験させて注意を促すなど教育現場での利用方法についても解説がありました。後半は、受講者全員がVRゴーグルを装着し、仮想現実の世界を体験しました。VRゴーグル経験者には、PC上で3Dの世界を作成できるアプリづくりを体験する参加者もいました。参加者はそれぞれに、日ごろなかなか体験できない世界を体験し、楽しんでいる様子でした。



【第6回】ビジネスアイデアとは何か？ 組み合わせから考える事業課題解決思考方法

開催日：10月11日(土)

講師：金沢星稜大学 経済学部 教授 村上 統朗

今回の市民講座では、本学で「ベンチャービジネス論」などを担当する村上教授からビジネスアイデアは、ひらめきではなく、何らかの問題を解決するために、何かを組み合わせることから生まれると説明がありました。また、アイデアの視点として、ブルーオーシャン戦略より、増やす、取り除く、付け加える、減らすといった視点を変えることや、売り手、買い手(など立場を変えて考えること)、オズボーンのチェックリストといった技法が紹介されました。



2025年度は、経済学部
の5つのゼミナール(村
上ゼミ、野林ゼミ、神崎ゼ
ミ、土屋ゼミ、佐藤ゼミ)が
本事業に参加。それぞれ
の活動報告は、ホームペー
ジで紹介しています。



金沢星稜大学と石川県中小企業家同友会とで締結した連携協定に基づいて「2025年度課題解決型共創インターンシップ事業」を実施しています。本事業は本学と石川県とで締結した「学生の県内定着促進に関する協定」に基づいた事業としても位置付けています。

SDGs産学 地域連携 センター

金沢星稜大学×
石川県中小企業家同友会
「2025年度課題解決型
共創インターンシップ」



総合研究所



SDGs産学
地域連携センター

Since 1932

星稜

誠実にして社会に役立つ人間の育成

学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部
石川県金沢市御所町 丑10番地1
TEL:076-253-3924(代表)
(大学) <https://www.seiryu-u.ac.jp/u/>
(短大部) <https://www.seiryu-u.ac.jp/c/>

星稜高等学校・星稜中学校
石川県金沢市小坂町南 206番地
TEL:076-252-2237(代表)
<https://www.seiryu-hs.jp/>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園
石川県金沢市御所町 寅27番地
TEL:076-252-5057(代表)
<https://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園
石川県金沢市泉野町 6丁目 17番 30号
TEL:076-244-5636(代表)
<https://kinder.seiryu.jp/izumino/>

バックナンバーを、
ホームページにて公開しています。
<https://www.seiryu.jp/magazine/>

